

彼方小だよい

児童数配布

富田林市立彼方小学校

令和7年12月号



【彼方小 HP の QR コード】

「世界人権デー」と「三方よし」

こうちょう うえもと ひろし
校長 上本 浩

12月4日から10日は「人権週間」、そして12月10日は「世界人権デー」です。本校では、年間を通して子どもたちの成長に合わせながら、人権について考える学習や、心に触れる体験的な活動に取り組んでいます。「だれもが大切にされる学校」「気持ちよく安心して過ごせる学校」でありたいという思いのもと、子どもたちは、自分の言葉や行動がまわりの友だちにどのような気持ちを届けているのかを、集団づくりの場面でゆっくり話し合いながら考えています。いじめを許さない心、相手の立場を思い浮かべる力、ちがいを温かく受け入れ合う姿勢は、一日一日の小さな積み重ねの中で育つものです。ご家庭や地域のみな様にも日頃より温かい声かけや、困りごとがあるときに寄り添っていただき、子どもたちに豊かな心が育っています。おかげさまで、子どもたちの中に「思いやりの芽」が確かに息づいていることを感じる場面も多く、学校としても大変心強く感じています。今後も教職員一同、温かい学級集団づくりと人権感覚の育成に力を尽くしてまいります。

また、折に触れ、子どもたちには「自分だけでなく、相手やまわりも気持ちよくなる行動を大切にしよう」と伝えてています。これは、近江商人の教えとして知られる「三方よし」の考え方を通じています。

「三方よし」とは、「買い手よし・売り手よし・世間よし」という、関わるすべての人があなたになることをめざす姿勢です。学校生活に置き換えると、「自分よし・友だちよし・みんなよし」ということになります。2学期のまとめとして、友だちとの関わりや学習の場面で、この考え方方が子どもたちの“よりよく過ごすための道しるべ”になってくれることを願っています。

これからも、子どもたち一人ひとりが「ここにいてよかった」と思える、思いやりの輪が広がる学校づくりを進めてまいります。